

目標 1 : みんなで支える地域共生社会づくり
(社協)

説小治政の癡癡地獄 小治政の癡癡地獄
(附録)

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート		基本目標 1 みんなで支える地域共生社会づくり	
		施策の方向性 (1)	地域で支え合う仕組みづくり
		取組み	1) 市民主体の支え合いの場の充実
施策タイトル	①あいさつでつながる地域づくり		
計画内容	・あいさつを交わすことにより、住民同士等がつながり合い声をかけあう地域を目指して、「まちでニコリ (*^_^*) あいさつ・声かけ運動」の推進に努めます。		
取組状況	○住民同士等がつながり声を掛けあう地域を目指して市内小中学校校門前及び通学路にてあいさつ声かけ運動を実施した。 ○小学校1年生へ「ちびっこ・あいさつ声かけひろめ隊」(シール提供)の任命活動の実施した。		
実績値	①まちニコシール贈呈 1,061名/9校	②	③
課題等	今後のあいさつ・声かけ運動の意義や目的の共有。	今後の方向性	住民が主体となり、あいさつ・声かけ運動を継続し、各地域で定着するよう働きかけを行う。また、継続して小学1年生へ「まちニコシール」を贈呈する。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A~E)	B
施策タイトル	②「地域支え合い活動委員会」の取り組みの充実		
計画内容	・メンバー間での積極的な意見交換を促進し、活動の考え方や内容・方法について意識の共有化を図ることにより、更なる取り組みの充実に努めます。 そうした中で、地域づくり活動と併せ、地域の実情に合わせた個別支援活動の展開を促進していきます。 ・困りごとを抱えている方や潜在的な相談者を発見し、地域人材・資源等と連携して支援を図っていくことができるよう、地域支え合い活動委員会に対して必要な支援に努めます。 ・見守りおかえり支援などの取り組みを行う中で地域の企業を巻き込んだ展開を促進します。 ・必要に応じ、研修会や勉強会などの情報提供に努めるなど、活動の側面的な支援を図ります。		
取組状況	○23自治会にて地域支え合い活動委員会を開催した。 ○地域づくり活動並びに個別支援活動の充実に努めた。 ○研修会や勉強会の機会を設け、委員の資質向上に努めた。		
実績値	①地域支え合い活動委員会 23自治会 / 2,256名参加	②個別支援取り組み 1,276回	③研修会及び勉強会の開催 26回
課題等	見守り活動への協力者、地域企業をどのように巻き込んでいくかが課題である。	今後の方向性	昨年度以上に、個別支援への取り組みや見守り支援の充実が図られており、今後も継続して取り組んでいきたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A~E)	B

施策タイトル③地域支え合い活動委員会の周知			
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社協だよりをはじめ、本会ホームページやコミュニティFM、ささえあい通信といった各種の広報媒体を用い、引き続き、地域支え合い活動委員会の周知を図ります。 ・地域の取り組み等をタイムリーに発信するとともに、若者世代への情報発信の強化等を図るため、SNS等を利用した情報発信について検討していきます。 		
取組状況	○ささえあい通信を発行し、本会HPや市役所HP等で広報を行った。 ○ツイッター・LINE等のSNS媒体を活用し、地域活動の情報提供を行った。		
実績値	①ささえあい通信発行 12回	②SNS媒体を活用した情報発信 82回	③
課題等	地域の皆さんが行っている活動を多くの市民に理解してもらえる仕組みづくり（広報周知）が課題である。	今後の方向性	SNS媒体を用いながら広報周知を図る事が出来たが、多くの市民に地域活動に参加してもらえるような情報提供の充実に努めたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	B
施策タイトル④地域支え合い活動の課題解決に向けた取り組み			
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支え合い活動委員会の活動から挙がる地域課題について、地域福祉コーディネーター間で共有を行い、行政の地域福祉コーディネーターと連携し行政各課や関係機関と解決に向けた協議や調整を行います。 		
取組状況	○地域課題解決に向け、地域福祉コーディネーター間での情報共有を図った。 ○福祉総務課との定例会の場を設け、事業の進捗状況や事業展開についての意見交換を行った。		
実績値	①コーディネーター定例会 12回	②福祉総務課との定例会 12回	③
課題等	9060問題や支援拒否等の地域課題が多様化しており課題解決に向けた取り組みが十分に出来なかったことが課題である。	今後の方向性	引き続き支援拒否世帯等への支援のあり方について関係機関と協働連携しながら取り組みの充実に努めたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	B
施策タイトル⑤見守り支援活動の充実			
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域支え合い活動委員会での見守り活動の充実や一人暮らし高齢者等保健飲料給付事業、見守り活動助成事業等を通して企業・関係機関との協働・連携を推進し、支援体制の構築を図っていきます。 		
取組状況	○地域支え合い活動委員会での見守り活動の充実を図った。 ○住民主体による見守り活動（配食型/日常見守り型 * 赤い羽根共同募金活用）を展開し、訪問しやすい環境づくりに努めた。 ○高齢者等保健飲料給付事業においては、地域民生委員や地域住民等との接点が設けられるよう工夫を図った。		
実績値	①保健飲料給付 延べ1,037名利用	②住民主体見守り活動 18自治会 助成金額 1,085,000円	③
課題等	地域支え合い活動に対する意識の地域差があり、見守り活動等にも差が出てきていることが課題である。	今後の方向性	見守り活動が活性化している地域が多くなっているので、先行事例として活動について紹介しながら全地域に拡大していけるよう取り組んでいきたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	B

施策タイトル	⑥生活支援体制整備事業の推進等による中学校区圏域での活動支援		
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉サービスや住民同士の集いの場、地域ニーズ等の地域資源の把握・充実・開発を行います。 ・第2層協議体（中学校区圏域）については、地域実情や地域状況に応じた活動展開を図り、住民主体を基本とする協議体運営を行っていきます。 ・なお、高齢者以外の幅広い対象者への支援等、地域の抱える多様な課題への対応を検討していくことができるよう、行政と連携しながら体制充実に努めます。 ・第2層協議体（中学校区圏域）に生活支援コーディネーターを配置し、コーディネート機能の役割を果たしながら推進していきます。 		
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○地域ニーズ等の地域資源の把握・充実・開発に向けた取り組みを行った。 ○生活支援コーディネーターが地域の抱える多様な課題への対応を検討し、適切な助言アドバイス等を行った。 ○ゆいペイフォワードへの後方支援を行いながら、活動の充実に取り組んだ。 ○「社会福祉とフードロス削減」としてフードドライブ仕組みづくりと広報周知区民がつながるイベントを開催した（上大謝名） ○公民館を活用し、地域住民や出張販売所が集う商店を開催。買い物支援や新たな地域コミュニティ構築に繋げた。また、通いの場を活動支援、新規立ち上げ支援に取り組む。 		
実績値	①自立支援型地域ケア会議への参加 5回	②通いの場等への参加 301回	③第2層協議体の開催 16回
課題等	<p>地域資源調査等を行い、資源マップ発刊や各種取り組みについて情報を提供しているが、情報提供が十分でない。</p> <p>安心して暮らせる地域について、住民主体となって話し合う「協議体」の内容充実が課題となっている。</p>		<p>今後の方向性</p> <p>地域情報の「見える化」を強化する。通いの場の活動支援、立ち上げ支援に取り組む。協議体の在り方や内容充実に向け随時、担当課と状況共有を行い開催する。</p>
課名	<p>宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係</p>		<p>事業評価 (A～E)</p> <p>B</p>

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート	基本目標 1 みんなで支える地域共生社会づくり		
	施策の方向性 (1) 地域で支え合う仕組みづくり		
	取組み 2) 地域福祉コーディネーターの活動の充実		

施策タイトル ①地域福祉コーディネーターの配置と活動の充実			
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本会に配置されている地域福祉コーディネーターについて、4名配置体制の継続を図ります。 ・ 地域福祉コーディネーターは、「地域支え合い活動委員会」との協働・連携を図るとともに、地域と関係機関との連携をサポートするコーディネート及びコミュニティソーシャルワーク機能を担うものとし、活動の充実に努めます。 ・ 行政に配置されている地域福祉コーディネーターとの連携を密にし、課題の共有化を図ります。 ・ 行政と連携し、地域福祉コーディネーターを中心に、前述した「相談支援包括化推進会議（仮称）」の運営・コーディネートを行う事務局としての役割を持ち、体制や活動内容の充実強化を検討していきます。 		
取組状況	○地域福祉コーディネーターを4名配置する事が出来た。 ○地域支え合い活動委員会においてコミュニティソーシャルワーク機能を用いながら地域づくり・個別支援に対応する事が出来た。 ○「相談支援包括化推進会議（仮称）」においては、検討委員会を設ける事が出来た。		
実績値	①	②	③
課題等	コミュニティソーシャルワーク機能を十分に発揮する事が難しかったことが課題である。	今後の方向性	個別支援の視点を充実させ、個別支援と地域支援の支援を充実させ、地域課題へのアプローチ方法等について議論し、活動を充実させていく。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	B
施策タイトル ②地域との協働による問題解決に向けた取り組みの実施			
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域福祉コーディネーターは、地域の自主性を尊重し、地域と協働して問題解決に取り組んでいくものとし、住民に対し適切な情報提供を図るなど、地域福祉活動に参加できるようサポートしていきます。 ・ 地域支え合い活動委員会等に対し専門的立場から様々な地域活動を促進していくため、必要に応じて地域の担い手（キーパーソン）となる人材の発掘や育成、講演会の開催に向けた企画づくりの支援等を行います。 ・ 地域づくり活動について、見守り活動や地域の現状・課題の把握につながるよう働きかけていくことにより、問題解決につながる取り組み実施を促進します。 		
取組状況	○福祉の専門的立場から助言アドバイスや活動の促進に向けた取り組みを行う事が出来た。		
実績値	①福祉や地域情報の発信 82回	②個別支援の対応 1,276回	③
課題等	個別支援を進める上で、ご本人やご家族だけでなく、他の支援者や地域社会をいかに巻き込んでいくかは、支援の資質を左右する重要な要素ですが、どのように巻き込んでいけばよいのか、その難しさが課題である。	今後の方向性	個別支援の視点を充実させ、地域と協働していく姿勢や形を作っていきたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	B

施策タイトル	③地域福祉コーディネーターの資質向上		
計画内容	・地域福祉コーディネーターのスキルアップを図るため、コミュニティソーシャルワークに関する技術論や技術実習等、資質向上に資する各種研修への参加促進を図ります。		
取組状況	○専門職としての研修会等への参加を行う事が出来た。		
実績値	①研修会への参加 11回	②	③
課題等	地域課題が複雑多様化している中で専門的な知識が必要な場合が多いため、計画的な研修会の企画及び参加に努めたい。	今後の方向性	専門職としての資質向上に努めながら、地域支え合い活動委員会や地域活動が充実していけるようスキルアップを図っていききたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	B
施策タイトル	④保健師の配置		
計画内容	・地域づくり活動等を通し、地域の医療・保健に関する課題への対応を図るため、保健師の配置を継続します。		
取組状況	○個別支援からあがってくる医療・保健に関する課題解決に向けた連携を図った。		
実績値	①地域住民への保健指導 5ヶ所 / 126名	②ケース対応（電話訪問等） 430件	③
課題等	複雑な課題を抱える個人や家族に対し、医療分野や福祉関係機関と連携した支援は行えたが、地域住民主体による健康づくりの仕組みづくりの充実を図るための企画・支援が課題である。	今後の方向性	介護予防やフレイル予防等を通して、地域住民の健康維持や課題解決に向けた取り組みを充実させていきたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	C

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート	基本目標 1 みんなで支える地域共生社会づくり		
	施策の方向性 (2) 地域活動の活性化支援		
	取組み 1) 自治会・福祉団体等の活性化		
施策タイトル	①自治会加入の促進		
計画内容	・自治会加入促進強化事業への参加協力を実施していくとともに、地域支え合い活動委員会等の地域福祉活動を通じた自治会加入促進に向けた取り組みを行っていきます。		
取組状況	○「自治会への加入促進に関する基本協定」に基づく自治会加入促進に対する支援活動を行った。		
実績値	①自治会活動の周知活動 3地域	②加入促進月間出発式への参加	③
課題等	自治会加入促進強化事業への参加協力はしているが、自治会加入向上に向け、行政と連携した取組は出来なかったことは課題である。	今後の方向性	自治会加入促進強化事業への協力を続けながら自治会加入率の向上に向けて取り組みを支援していきたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	D
施策タイトル	②福祉団体と各種地域資源との連携・情報共有支援		
計画内容	・市内の福祉団体と福祉施設、事業所、NPO、ボランティア団体等の把握を行うとともに、相互交流・情報交換の機会創出に努める中で、連携・情報共有を促進し活動の活性化を図ります。		
取組状況	○福祉団体やNPO法人等との連携・情報共有の促進に努める。 ○ボランティア団体の活動状況把握する為、アンケート調査を実施した。		
実績値	①	②	③
課題等	市内の福祉団体やNPO法人等の活動状況について、回答数が少なかった為、活動団体の把握が限定されている。	今後の方向性	福祉関係団体、ボランティア団体の活動状況について、SNS媒体を用いながら、市民に活動紹介を行うとともに、更なる団体の活動状況把握に努めたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	E
施策タイトル	③福祉活動の活動資金確保に向けた研究実施		
計画内容	・社会的課題の解決に向けて取り組んでいるNPO等と連携し、多様な手法を用いてその実践・普及に努めます。		
取組状況	なし		
実績値	①	②	③
課題等	なし	今後の方向性	なし
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	E

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート	基本目標 1 みんなで支える地域共生社会づくり	
	施策の方向性(2) 地域活動の活性化支援	
	取組み 2) 地域での居場所・活動の場の充実	

施策タイトル ①市民の交流・活動の場の充実			
計画内容	・自治会でのミニデイサービス事業（あしび村や一デイサービス）や子育てサロン等、市民に身近な公共施設や民間施設で行われている支え合いの取り組みや各種交流事業について、内容の充実に努め、市民への周知や参加促進を図ります。併せて、高齢者を支える地域の支え合いの体制づくりを推進していきます。		
取組状況	○ミニデイサービス事業の実施及び活動の充実に向け取り組んだ。 ○検討委員会での結論がでず、地域子育て支援事業が充実していることを踏まえ、子育てサロン助成事業は廃止とした。		
実績値	①ミニデイ利用者 520名	②ミニデイボランティア 464名	③子育てサロン意見交換会の開催 0回
課題等	ミニデイ利用者の送迎事業は実現できたが、ボランティア担い手確保や運営上の課題について、各地域から意見がでている。 子育てサロンはこれまでの意見交換会を重ねてきたが、方向性が見いだせない状況にある。	今後の方向性	ミニデイはボランティア担い手確保や運営上の課題について、各団体と話し合いを行い、地域の居場所事業として、活動支援を行うこととする。 子育てサロンは、子育て支援センターや居場所等が充実していることを踏まえ、社協助成事業は終了とする。今後、地域協力者による子育てサロン再開を希望した場合、社協の課題解決型助成事業にて活動支援を行うこととする。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	B
施策タイトル ②「交流施設」の整備に向けた取り組みの推進			
計画内容	・真栄原地区において予定している“交流施設”の整備に向け、宜野湾市担当課と連携していきます。		
取組状況	○「交流施設」に関する担当部署との話し合いを持ち、センター移設の基本設計に係る事務所機能に関する調整・要望を行った。 ○新センター移設の費用確保に向け、チャリティーボウリング大会を開催し、基金の積立を行った。		
実績値	①チャリティーボウリング大会開催 収益金：543,664円	②	③
課題等	行政の進捗状況による対応となるため、担当課と連携を強化し機能の充実化を図ることが望まれる。	今後の方向性	センター建設に向け、担当課と連携強化を図り、取り組む。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 (A～E)	E

施策タイトル	③宜野湾市社会福祉センターの運営管理及び機能移転に向けた調整実施		
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の福祉推進と地域福祉活動の育成を図ることを目的として整備された宜野湾市社会福祉センターの運営管理を継続し、福祉・ボランティア団体の活動拠点になるようセンター機能の充実に努めます。 ・老朽化のみられる社会福祉センターについて、危険個所の速やかな改善を図り、安全性に充分配慮しながら運営を図るとともに、真栄原地区に整備される「交流施設」への機能移転に向け、各種調整等を図ります。 		
取組状況	○社会福祉センターの貸出を行い、安全管理等に努めた。2階クーラー機器修繕工事、1階・2階ホール軒下工事、昇降機設置工事（昇降機設置）、トイレ配管交換工事を実施し、安全衛生面の配慮に努めた。 ○避難訓練では、職員を始め、愛育園親子やセンター利用者含めた避難訓練を行った。		
実績値	①センター貸出 993回 ※ホール、ボランティアサロン、団体室の貸出総数	②危険個所の修繕 5カ所	③避難訓練の実施 2回
課題等	老朽化に伴い社会福祉センター危険個所の改善など随時行い、利用者の安全面の確保を行っているが、新交流施設建設まで維持できるか分からない。	今後の方向性	随時、危険個所の点検を行い、建物の維持を図りつつ、利用者の福祉的施設機能として安全確保をしたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 (A～E)	B
施策タイトル	④ひきこもりがちな市民等が社会とつながり・交流できる場の確保・充実		
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで居場所へ足を運ばなかった市民も参加しやすい地域の居場所等の整備や、その参加を促す仕組みを宜野湾市や関係機関と検討します。 		
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・通いの場の支援に関する意見交換会（包括・社協・介護長寿課）を実施した。 ※「通いの場」は、介護予防やフレイル予防などを目的とした活動を行う場であり、住民同士のふれあいを通じて、生きがいがづくり・仲間づくりの輪を広げて、地域の介護予防の拠点となる場である。 		
実績値	①交流の場づくり意見交換会 (4回)	②	③
課題等	今後、通いの場を増やす必要があるが、関係機関との連携、協力者の確保について課題を抱えている。	今後の方向性	関係機関と連携し、具体的な取り組みについて検討する。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係／地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	C

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート	基本目標 1 みんなで支える地域共生社会づくり		
	施策の方向性 (3) 地域で取り組む防犯・防災対策の充実		
	取組み 1) 防犯・防災対策を通じた地域づくりの推進		

施策タイトル	①宜野湾市地域防災計画の推進		
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本会の事業を通し、民生委員・児童委員、ボランティア、避難行動要支援者等に向けて宜野湾市地域防災計画の周知を図るとともに、災害情報を伝達するネットワークの構築や避難場所の周知を図ります。 ・地域支え合い活動委員会等で避難行動要支援者の支援体制の構築に向けた防災学習を実施していく中で津波一時避難ビルや避難所・福祉避難所の確認・周知を図ります。 		
取組状況	○「宜野湾市避難行動要支援者支援計画推進会議」への参加。		
実績値	①「宜野湾市避難行動要支援者支援計画推進会議」会議 2回	②	③
課題等	関係機関や社協・行政等の役割分担について明確化出来ていない。	今後の方向性	避難行動要支援者同意者を各地域において、平常時の見守り活動として、支援者「自助」の防災・減災の意識啓発、地域支え合い活動委員会や地域住民への「共助」の意識醸成と仕組みづくりに向け、取組んでいきたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	B

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート	基本目標 1 みんなで支える地域共生社会づくり		
	施策の方向性 (3) 地域で取り組む防犯・防災対策の充実		
	取組み 2) 避難行動要支援者に対する支援の充実		

施策タイトル	①避難行動要支援者に対する日常的な見守り支援体制の充実		
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・宜野湾市担当課や民生委員・児童委員、自治会（自主防災組織）等、様々な地域団体と連携し、日常的な見守り活動を含め、災害時に対応できる体制づくりに努めます。 		
取組状況	○避難行動要支援者に平常時の見守り活動を行うため、地域支え合い活動委員会で避難行動要支援者名簿の更新、避難行動に関する情報交換会を実施した。		
実績値	①地域支え合い活動委員会での防災学習 2回	②	③
課題等	地域の人々は地域で守るという「共助」の必要性、災害時に一人で避難できない方を支援する必要性の確認等、意識の共有について課題である。対象者の自助強化に向けた取り組みも課題である。	今後の方向性	平常時の見守り体制構築を図り、有事には自主防災組織や関係機関との連携が図れるよう取り組みの充実を図りたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	B

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート	基本目標 1 みんなで支える地域共生社会づくり	
	施策の方向性 (4)	生活困窮者自立支援対策の推進
	取組み	1) 生活困窮者の自立促進や住居の確保に向けた支援

施策タイトル	①生活福祉資金貸付事業の周知・利用促進		
計画内容	・ 沖縄県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付事業の相談窓口として地域住民からの相談を受け、世帯の自立に向けた支援を行っています。		
取組状況	生活に関する相談を踏まえ、生活福祉資金の相談・申請対応等。通常の本則での貸付対応を行った。世帯の経済的自立支援に取り組んでいる。		
実績値	①相談件数：3,455件 ※相談件数は、特例貸付相談件数（貸付・猶予・免除等）も含む	②申込件数25件（本則） 決定件数25件（本則）	③新型コロナ特例貸付事業免除 免除件数：1,290件 免除金額：583,135,960円
課題等	生活に困窮している世帯の自立に向けた貸付を行っているが自立まで至らない状況である。貸付償還相談等とおし、自立支援に向けて取り組みが十分取り組めていない。	今後の方向性	多様・複雑な世帯の課題に対し、関係機関と連携を強化し支援に取り組む。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 (A～E)	B

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート	基本目標 1 みんなで支える地域共生社会づくり	
	施策の方向性 (4)	生活困窮者自立支援対策の推進
	取組み	2) 生活に対する支援の実施

施策タイトル	①福祉金庫貸付事業の周知・利用促進		
計画内容	・ 本会独自の事業として、一時的に生活が厳しくなった世帯等に対して小口資金の貸付を行い、生活の維持を図るとともに、関係機関との連携を図りながら自立に向けた支援を行います。		
取組状況	○一時的な給与の減少や生活費の急な出費により、一時的な生活困窮等の世帯支援として小口の貸付を行い世帯の生活の維持を図る。		
実績値	①貸付件数 51件	②貸付金額776,500円	③
課題等	貸付に依存している世帯、自立につながらない世帯、未償還世帯への返済の働きかけ等が課題である。	今後の方向性	貸付後の自立に向けた関係機関との連携の強化を図る。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 (A～E)	B

施策タイトル ②緊急一時支援（法外援助）による援助実施			
計画内容	・自然災害等による被災や緊急援助を必要とする世帯への一時的な支援（金品や生活物資等による支援）を行います。また、関係機関等との連携を図り、生活状況の改善に向けた支援を行います。		
取組状況	○緊急一時的な経済的支援を必要とする世帯、火災や水害などの自然災害にあわれた世帯に対し一時的な支援として金品やフードドライブを活用し支援を行う。継続的な生活支援が必要な状況のため関係機関と連携し対応している。		
実績値	①法外援助費（現金）の支給 6件 60,000円 ※輝け子ども夢希望応援助成金含む	②物品の支給 854件 （食料・日用品等）	③
課題等	一時的な支援事業であるが、何度も利用する方がおり、利用者の自立支援に向けて関係機関と連携強化が課題である。	今後の方向性	関係機関と連携を強化し、自立に向けた支援体制の構築に取り組みたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 （A～E）	B
施策タイトル ③歳末たすけあい募金の効果的な活用			
計画内容	・困窮状況にある世帯が明るい正月を迎えられるよう、歳末たすけあい募金（一部）を活用し、見舞金の支給による支援を実施します。 ・困窮世帯の新1年生（小学1年生・中学1年生）を対象に、学用品準備支援に係る一部助成を行います。		
取組状況	○経済的に困窮している世帯へ年末年始にあわせ、歳末たすけあい見舞金支給事業を実施している。 また、小学校、中学校入学を対象に新入学用品等の準備のための助成事業を実施している。 関係機関と連携し対象者の発掘・支援を行っている。		
実績値	①歳末見舞金支給事業 178件 2,827,000円	②新入学用品準備等準備 支援事業 66件 660,000円	③
課題等	対象者発掘を含めた事業の在り方の検討や広報活動が課題となっている。また、募金を活用しているため安定した財源の確保が望まれる。	今後の方向性	見舞金支給事業対象者など支援を必要とする世帯発掘に向けた事業の見直しを行うとともに、募金の取り組みにおいても安定した財源の確保を検討する。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 （A～E）	B
施策タイトル ④フードドライブ活動の普及			
計画内容	・食べ物を持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンク等に寄付するフードドライブ活動について、広く市民への周知を図り、活動への参加促進に努めます。 ・頂いた食べ物を困窮世帯等に対し一時的な生活支援として提供していきます。		
取組状況	○フードドライブとして、企業、団体、個人より食糧、生活用品等を寄付いただき、支援を必要とする世帯、または支援団体等へ一時的な生活支援、団体支援として食糧を提供する。広報においては、社協だより、社協ホームページをはじめ、様々な媒体を活用し広報を行い活動の強化を行っている。		
実績値	①食料等の寄付 64件	②食糧支援 854件	③他企業連携による食料支援5件
課題等	様々な企業・団体、個人が取り組んでいるが、更なる支援のため協力者（団体）増のための周知方法が課題となっている。	今後の方向性	周知方法の強化とともに必要な方へ食糧を提供する。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 （A～E）	B

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート	基本目標 1 みんなで支える地域共生社会づくり		
	施策の方向性 (5) 子どもの貧困対策の充実		
	取組み 1) 貧困の連鎖を断ち切るための包括的な支援		
施策タイトル	①子どもの貧困対策に向けた行政との連携・体制の整備		
計画内容	・子どもの貧困対策の推進に向けた体制を整備し、各種取り組みの検討・実施を図っていくとともに、包括的な支援を進める中で生活困窮者への支援等への波及を図ります。		
取組状況	○各種事業の世帯支援において、子どもの貧困対策にも取り組んだ。 子供の居場所（食堂）等支援活動を行う団体へはフードドライブを活用し食糧支援等できた。		
実績値	①子どもの居場所（子ども食堂等） 食糧への提供 34件	②	③
課題等	関係機関との連携、包括的支援が必要であるが、行政担当課との情報共有の場が設置できていない	今後の方向性	単発な支援とならないよう、行政との連携を強化し支援のあり方について検討していく
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 (A～E)	C

目標 2 : 福祉を担う心豊かな人づくり
(社協)

リンドル人財を動かす術を学ぼう

(附録)

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート		基本目標 2 福祉を担う心豊かな人づくり	
		施策の方向性 (1) 担い手の育成	
		取組み 1) 福祉教育の充実	
施策タイトル	①福祉教育の推進		
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの時から他人に対する思いやりを育むため、多くの福祉事業所を巻き込み、小中学校における福祉教育を充実していくとともに、福祉教育推進校の指定に向けての活動の推進を図ります。 ・指導教員に向けた福祉教育学習プログラムの開催を検討し、併せて指導教員が参加しやすくなる工夫に努めます。 ・市内中学校を中心に、ボランティアパスポート事業を展開し、地域と子ども達がつながる場づくり、仕組みづくりを学校・自治会と協働連携しながら推進していきます。 		
取組状況	○福祉教育推進校として11校を指定し、福祉教育を推進することが出来た。 ○ボランティアパスポート事業拡大を図る為、学校、自治会に働きかけを行った。		
実績値	①福祉学習の支援 33回	②福祉教育推進校指定 11校	③ボランティアパスポート事業 1中学校
	④福祉教育における福祉事業所の協力 9回		
課題等	福祉教育は、福祉教育推進校指定校を中心に自治会、民生委員児童委員、市内事業所の協力を得て実施することができた。ボランティアパスポート事業拡大するための学校側への働きかけを行うことで次年度実施に向け学校側の理解を得ることができた。	今後の方向性	福祉教育は、学校、地域自治会、福祉関係団体、福祉事業所の協力を得ながら事業推進を図る。ボランティアパスポート事業は、市内中学校に理解を得ながら学校・自治会が協働連携できる仕組みを構築する。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	B
施策タイトル	②地域での実践から学ぶ福祉意識づくり		
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各種講座の開催を通して福祉意識を醸成していくとともに、地域活動への市民の参画を促進し、支え合いの活動の輪を広げるとともに、活動を通じて福祉意識を高めます。 		
取組状況	○各種講座等を通して福祉意識の醸成 ○講座終了後、ボランティア登録や権利擁護事業（日常生活自立支援事業）の生活支援員として登録することが出来た。		
実績値	①手話奉仕員養成講座（3課程） 1課程の開催	②音訳講座の開催 1回	③ふれあいサポーター講座の開催 1回
課題等	前年度に引き続き各種講座とも幅広い世代が受講できるよう情報発信・周知方法など工夫が必要である。 また、講座終了後、地域人材、担い手として継続した育成、活動のサポート方法が課題である。	今後の方向性	各種講座への参加者に対し、今後の地域福祉活動への参加の呼びかけが行える体制整備し、参加しやすい環境整備に向けて検討していきたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	B

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート	基本目標 2 福祉を担う心豊かな人づくり		
	施策の方向性 (1) 担い手の育成		
	取組み 2) 地域を担う人材・資源の掘り起こし・育成		

施策タイトル ①地域の担い手（キーパーソン）の発掘・育成			
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の各種養成講座や活動を通して、地域活動の担い手の発掘や育成、担い手を地域へとつないでいきます。 ・地域福祉コーディネーターと生活支援コーディネーター、ボランティアコーディネーター等が連携し、地域支え合い活動委員会の取り組みの中などでボランティアに関する勉強会や講座等を開催します。 ・若い世代のボランティア等への参画に向け、大学との連携・協働により、参加しやすい環境づくりを検討していきます。 		
取組状況	○大学と連携を図りながら、ボランティア活動に参加しやすい環境や情報提供の充実を行った。 ○地域支え合い活動委員会にて、地域課題解決・仕組みづくりに向け、大学生を受入れし、話し合う場を設けた。		
実績値	①地域の話し合いの場での大学生受入 (1回)	②ボランティアに関する勉強会 高校1校 (認知症講話)	③
課題等	若い世代のボランティア等への参画に向けた取り組みが十分でないため、大学との連携・協働した取り組みを行う必要である。	今後の方向性	大学や専門学校との連携を図りながら若い世代のボランティアへの参加に向けた環境づくり等について協議の場を設置していきたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	C
施策タイトル ②企業等に対する働きかけの実施			
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の地域貢献活動を広めていくため、各種メディア等を通じた情報発信や働きかけを行います。 ・企業の地域貢献活動と地域づくり活動を結び付けていくことができるよう、企業が求めていること・応えられること等について意見交換の実施に努めるとともに、「SDGsの推進」等といった企業に関心を寄せているテーマでのアプローチの検討を図ります。 		
取組状況	○金融機関と連携しスマホアプリ決済やクレジットカード決済による新たな寄付者拡大を図ることが出来た。 ○こどもごはんサポート事業として地域住民が「みらいチケット購入」により、市内協力加盟店（飲食店）へのチケット寄贈、食の支援が必要な子供達への支援を行うことが出来た。 ○地域支え合い活動委員会による地域見守り活動において、企業側の物品提供を活用することが出来た。 ○ひとり親世帯等に支援している企業や飲食店を広報紙やSNS等で紹介したり、職員が活動サポートを行った。		
実績値	①地域貢献促進による企業参加 (12企業)	②	③
課題等	企業や団体による物品寄贈、金融機関と連携したアプリやクレジットカード決済による寄付金の受け入れなど、様々な形で取り組んでいるが、企業への働きかけが弱い、参加数が少ないのが課題である。	今後の方向性	組織内の検討会議を実施し、地域貢献活動やSDGsに関心のある企業と協議の場を設け、地域課題に対し共に取り組む仕組みづくりを行いたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係、地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	B

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート	基本目標 2 福祉を担う心豊かな人づくり		
	施策の方向性 (1) 担い手の育成		
	取組み 3) 民生委員・児童委員や健康福祉サポート人材の養成・支援		

施策タイトル	①民生委員・児童委員活動への支援・充実		
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員の活動に対する支援をはじめ、研修会の協働企画運営や、円滑な事務局運営の推進を図るなど、民生委員・児童委員活動を支援します。 ・新たな人材の確保に向けて、民生委員・児童委員の役割・活動の周知を図ります。 		
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○民生委員・児童委員活動の充実に向けた事務局運営の推進を行った。 ○県外視察研修実施に向け、事務局として先進地の民生委員・児童委員の取り組みを調査・研究し派遣することが出来た。実施後は報告会を開催し、今後の活動展開の参考に繋げることが出来た。 ○団体助成による活動支援を行った。 		
実績値	①民生委員・児童委員の研修会開催（3回）	②団体助成による活動支援 700,000円	③
課題等	本会としても民生委員の担い手不足、活動の役割・活動の周知不足をどのように解決していくかが課題である。	今後の方向性	新たな人材確保に向けて民児連協役員と協働しながら支援体制の構築に努めていきたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	B
施策タイトル	②福祉団体や当事者団体の活動支援（母子寡婦福祉会・手をつなぐ親の会等）		
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉団体や当事者団体が自立した会活動を実践していけるよう、母子寡婦福祉会や手をつなぐ親の会等の事務局運営を行い、活動を支援します。 		
取組状況	○母子寡婦福祉会・手をつなぐ親の会の事務局運営及び団体助成による活動支援を行った。		
実績値	①母子寡婦福祉会への助成 130,000円	②手をつなぐ育成会への助成 130,000円	③
課題等	団体役員は、仕事と会運営の両方を担っているため、会運営がスムーズにできず、対応に苦慮しており、役員体制の充実が課題である。	今後の方向性	団体役員及び会員が活動しやすい環境づくりのを図るため、役員体制の充実に向け協議を行っていきたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	B

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート	基本目標 2 福祉を担う心豊かな人づくり		
	施策の方向性 (2) ボランティアの育成・活用		
	取組み 1) ボランティア活動の促進		

施策タイトル ①ボランティアセンター機能の活用促進及び今後のあり方の検討			
計画内容	<p>・本市におけるボランティア活動の振興を図るため、ボランティアセンター運営委員会の開催を継続し、地域課題への対応や、課題に対する開発的・先駆的な取り組みの検討・実施、ボランティア活動に参加しやすくなるための体制整備を行います。</p> <p>・「交流施設」内にボランティアサロンを設置し、ボランティアに関する情報発信やボランティアを必要とする市民への紹介を行うボランティア活動の拠点として活用するとともに、市民やボランティア人材に対し、その周知を図ります。</p>		
取組状況	<p>○ボランティアセンター運営委員会の開催した。</p> <p>○ボランティア活動の情報発信（SNS等）を行った。</p> <p>○課題解決型助成事業（ボランティア団体）5団体（360,000円）に助成した。</p>		
実績値	①ボランティアセンター運営委員会の開催 4回	②ボランティアサロン利用数 221件	③情報発信（SNS）の提供 46件
課題等	ボランティアセンター運営委員会において、ボランティア確保・拡大について、協議することが出来なかった。	今後の方向性	大学や専門学校との連携を図りながら若い世代のボランティアへの参加に向けた環境づくり等について協議の場を設置していきたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	C
施策タイトル ②ボランティア同士の連携促進			
計画内容	・ボランティア団体間の交流の場・交流機会の確保に努めるなど、ボランティア同士の横の連携・充実を促進します。		
取組状況	○ボランティア団体活動状況把握するため、市内のNP0、団体にアンケート調査を実施した。		
実績値	①ボランティア団体登録数 12団体	②	③
課題等	アンケート調査を実施したが、活動把握が限定的となった。周知方法や活動把握する為に、アンケート協力を促す手法が課題である。	今後の方向性	活動団体把握を引き続き実施するとともに、ボランティア団体同士の交流機会の場を設け、横の連携・充実を図りたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	C
施策タイトル ③大学・専門学校等との連携による学生ボランティアの活動の促進			
計画内容	・市内大学の学生支援室や専門学校等との意見交換を実施し、大学生・専門学生等がボランティアに参画しやすい環境づくりや効果的な情報提供の方法について検討を行います。		
取組状況	○地域支え合い活動委員会にて、地域課題の仕組みに向け、大学生を話し合いの場へ参加することができた。		
実績値	①大学生向け講座開催（1回） 認知症の福祉講話 参加者9名	②	③
課題等	若い世代のボランティア等への参画に向けた取り組みが十分でないため、大学との連携・協働した取り組みを行う必要である。	今後の方向性	今後、課題整理を実施していく中で方向性を検討していきたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	C

施策タイトル	④企業等の地域貢献の促進		
計画内容	・市内企業や商工会、社会福祉法人等に対し、地域福祉の各種取り組みについての周知を図り、地域活動への参加を促進していくとともに、今後とも寄付や活動への協賛を募っていくなど、地域貢献を仰ぎます。 ・社会福祉大会における企業等の表彰を継続するとともに、表彰のあり方について検討・充実に図ります。		
取組状況	○おきなわSDGsパートナーに加盟し、加盟店である銀行と協力によるアプリ募金やヤクルトによるフードドライブへの寄付の協力を得ることができた。 ○タコライスラバースとの協定により地域店舗（４店舗）と連携し、食事提供を行った。 ○社会福祉大会を開催し市内の福祉活動等に貢献のあった個人・団体・企業を表彰を行った。 また、併せて市民の皆様へ情報提供の場としての記念講演を開催した。		
実績値	①おきぎんスマートアプリ募金実施 ・キラキラ新入学基金 113件 ・困窮世帯応援支援 37件	②こどもごはんサポート事業の実施 加盟店（5店舗）	③子供チケット利用者数2,166枚 チケット寄付金額235,380円 ※社協購入、市民寄付含む
課題等	おきなわSDGsパートナーに加盟後、社協活動の見える化、広報が出来ていない。 福祉大会表彰として地域活動者の発掘及び講演会等の福祉情報提供の在り方を検討が必要である。	今後の方向性	社協活動の見える化、様々な媒体を活用した広報の在り方の強化したい。 福祉大会表彰において、各団体が多くの地域活動者の推薦が行えるよう、福祉大会の趣旨を周知し取り組む。また、市民が様々な福祉情報が得られるよう講演会等のあり方について検討を行いたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係／総務・相談支援係		事業評価 (A～E) B
施策タイトル	⑤災害ボランティアの体制構築		
計画内容	・自然災害や大規模災害、ウイルス等の疫病蔓延による緊急事態宣言等の他、市民の生命・身体及び財産に重大な被害に生じる事態が発生した場合において、早急に支援体制が構築出来るよう宜野湾市と災害ボランティアの受け入れのあり方について検討していきます。 ・災害ボランティアセンター機能のあり方や実施方法、宜野湾市との協定のあり方等について検討を行います。		
取組状況	○宜野湾はごろもライオンズクラブとの災害ボランティア活動に関する応援協定書の締結ができた。 ○宜野湾市との宜野湾市災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定書の締結ができた。		
実績値	①宜野湾はごろもライオンズクラブ 災害ボランティア活動に関する 協定書締結（R6.4.17）	②宜野湾市役所との災害ボラン ティアセンターに関する 協定書締結（R6.11.1）	③
課題等	団体・行政と協定書締結を行うことが出来たが、災害ボランティアセンター機能について宜野湾市との意見交換を実施することが出来なかった。	今後の方向性	法人内の災害ボランティアセンター機能のあり方や組織体制について確立することが必要である。また、災害時発生時の関係機関との連携や役割についても、事前協議や訓練も必要である。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係		事業評価 (A～E) C
施策タイトル	⑥NPO法人や市民活動団体との連携・協働の充実		
計画内容	・宜野湾市における福祉課題解決に向けて市民協働推進課とも連携を図りながら、NPO法人や市民活動団体と連携・協働を図ります。		
取組状況	○宜野湾市地域づくり塾の運営委員として参加し、地域リーダー養成に向け取り組むことができた。		
実績値	①宜野湾市地域づくり塾 (宜野湾市地域リーダー等養成講座) 運営会議（3回）、講座（7回）	②	③
課題等	市民協働推進課との連携を図り、NPO法人や市民活動団体の支援のあり方について話し合いの場を設けることが出来なかった。	今後の方向性	法人内で活動団体把握を行うとともに、市民協働推進課と今後、NPO法人等との連携・協働のあり方について議論を深めていく必要がある。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係		事業評価 (A～E) C

施策タイトル	⑦社会福祉法人等による多様な福祉課題・生活課題への対応		
計画内容	・多様な福祉課題・生活課題へ対応していけるよう社会福祉法人等による地域貢献を含め、課題解決に向けた仕組み等について検討・実施していきます。		
取組状況	○社会福祉法人等による地域貢献に向け、福祉の人材を魅力を知る講演会開催。 ○社会福祉協議会でのSDGs取り組みに向けた活動の展開、SDGsの推進を図る企業との連携		
実績値	①地域貢献活動に向けた会議4回 福祉の人材を魅力知る講演会 開催 来場者 40名	②「こどもごはんサポート事業」 実施 市内6カ所事業所と提携	③
課題等	社会福祉法人地域貢献活動として、福祉の人材確保に向け、講演会を開催し、多様な福祉課題へ対応することが出来た。	今後の方向性	他の社会福祉法人地域貢献活動を拡げ、地域課題を把握しながら各法人が出来る事を検討していきたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係、地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	C

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート	基本目標 2 福祉を担う心豊かな人づくり		
	施策の方向性 (2) ボランティアの育成・活用		
	取組み 2) ボランティアコーディネート機能の充実		

施策タイトル	①ボランティア育成・活用の充実		
計画内容	・ボランティアコーディネーターの配置を継続します。ボランティアコーディネーターは、育成したボランティア人材の登録を図るとともに、ボランティアを行いたい人、お願いした人とのマッチングを含めボランティアに関するコーディネートに努めるなど、積極的に人材の活用を行います。 ・各種ボランティア養成講座や研修会などへ市民参加を促進し、ボランティアの育成を図ります。		
取組状況	○ボランティア活動に対するコーディネート機能の充実を行った。 ○市民のボランティア活動への参加促進に向けた研修会のあり方等について検討した。		
実績値	①ボランティア登録者数 個人 31名 / 団体 26団体	②ミニデイサービス事業登録者数 個人 464名 / 団体 24団体	③
課題等	広報紙やSNS等にてボランティア活動の魅力を発信しているが、新規ボランティア（地域協力者）登録者が増えず、広報等のあり方について課題がある。	今後の方向性	他市町村の広報等の取り組みについて検討するとともに、市民が参加ボランティアとしてしやすい環境整備や活躍できる場等について研究していきたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	C

目標 3 : すべての人にやさしい福祉のまちづくり
(社協)

はくわあまのほろり／＼とけふのあす／＼とけふ

（昭和）

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート	基本目標 3 すべての人にやさしい福祉のまちづくり		
	施策の方向性 (1) 包括的な相談支援・情報提供体制の強化		
	取組み 1) 包括的な相談支援体制の充実		

施策タイトル①相談窓口の充実強化			
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> 各課における相談対応職員の適正配置を図るとともに、職員研修の計画的な実施等により、相談対応職員の資質向上に努めます。 市民の各種相談に対応できる総合的な相談窓口としての体制の充実に努めます。 誰もが気軽に相談できる窓口として「ふれあい相談所」を設置し、関係機関との連携を深めながら相談支援の充実に努めます。また、無料法律相談等を実施し、法律の専門家等との連携のもと、多様な相談への対応を図ります。 		
取組状況	「ふれあい相談所」に相談員を配置、市民の心配事と悩み事の相談を行う。無料法律相談を月2回実施。		
実績値	①相談件数 3,494件 ※来所、電話、訪問の総数	②ケース会議 40回	③無料法律相談件数 40件 ※22日開設
課題等	コロナ感染拡大の影響等による生計課題や複雑化した生活課題を抱えた相談者が増えている。	今後の方向性	様々な相談に対し、関係機関と連携した相談体制の強化に取り組みたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 (A～E)	B
施策タイトル②民生委員・児童委員の相談機能の充実			
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員・児童委員が訪問活動から得た新たなニーズの発掘支援が行える体制づくりやアウトリーチが行えるように宜野湾市担当課と連携協働しながら、支援体制を構築していきます。 		
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○民生委員・児童委員の活動充実に向け、事務局として企画・実施に向け支援を行った。 ○利用者の世帯訪問時に利用者への変化から自治会、社協、関係機関に連絡し、支援体制構築を図ることが出来た。(地域支え合い活動委員会や見守り活動訪問時) 		
実績値	①	②	③
課題等	民生委員・児童委員の個々の活動にばらつきがあり一人一人毎の力を発揮出来ていない。経験年数に応じた研修等の体制に課題がある。	今後の方向性	社協、民児協が一体となって民生委員・児童委員の活動をバックアップする仕組み構築と経験年数に応じた研修等開催していきたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	C

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート	基本目標 3 すべての人にやさしい福祉のまちづくり		
	施策の方向性 (1) 包括的な相談支援・情報提供体制の強化		
	取組み 2) 誰もが必要な情報を入手できる仕組みづくり・サービスの質の向上		

施策タイトル ①情報提供の充実			
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本会の認知度を高めていくために、市のホームページとの連携やコミュニティFMといった各種の広報媒体を用い、事業や活動の取り組みについての周知を図ります。 ・必要とする情報がいつでも入手できるよう、福祉サービスや地域に関する情報提供の充実を図ります。広報誌・ホームページに掲載する内容の充実を図るとともに、マスコミを活用し、多様な情報提供に努めます。 ・地域の取り組み等をタイムリーに発信するとともに、若者世代への情報発信の強化等を図るため、SNS等を利用した情報発信について検討していきます。 		
取組状況	社協だよりの発行、社協ホームページによる広報活動、県内新聞社・宜野湾市報への記事掲載ができた。		
実績値	①社協だよりの発行 4回	②ホームページの閲覧 23,662回	③宜野湾市市報掲載 9件 宜野湾市LINE掲載 27件 県内2紙記事掲載 28件
課題等	各広報の取り組みにおいて身近な地域福祉に関する情報の提供や最新の福祉情報を十分発信出来ていない。	今後の方向性	様々な世代、市民が情報を得られるよう情報発信の強化を検討。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 (A～E)	B
施策タイトル ②視覚障がい者・聴覚障がい者への情報提供・意思疎通支援			
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・情報不足になりがちな視覚障がい者等に対し、市報、社協だより等の広報誌や、当事者に必要な情報等を点訳・音訳し、日常生活に必要な情報を提供します。 ・声の広報発行において、音訳ボランティアの育成につなげるための養成講座を実施します。 ・視覚障がい者に対し、幅広く情報を提供するため、点訳ボランティアの養成を図ります。 ・聴覚障がい者の社会参加や日常生活の支援に資するよう、手話奉仕員養成講座の実施を図ります。 		
取組状況	○点訳ボランティア団体、音訳ボランティア団体と連携しボランティア養成講座の開催した。 ○点訳ボランティア団体、音訳ボランティア団体へ活動助成を行い、情報不足になりがちな視覚障がい者等に対し、市報、社協だより等の広報誌や、当事者に必要な情報等を点訳・音訳し、日常生活に必要な情報を提供した。 ○手話奉仕員養成講座の開催し聴覚障がい者の社会参加や日常生活の支援者の養成を行った。		
実績値	①手話奉仕員養成講座の開催 入門課程 修了者 6名	②音訳ボランティア講座 修了者17名	③ボランティア団体への活動助成 点訳友の会（点訳） 90,000円 かたぐるまの会（音訳） 40,000円
課題等	各種講座受講終了者に対しボランティア団体への加入やボランティア登録等と呼びかけているが登録する方が少ない。また、手話奉仕員養成講座終了まで2年間かかるため、受講終了者が少なくなる状況である。音訳・点訳にて行っているサービス利用者が減少しており、新たな利用者への確保も課題である。	今後の方向性	点訳・音訳ボランティア団体の課題について情報共有を図り、身体障がい者福祉協会等とも連携しながら団体の活性化を図っていききたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 (A～E)	B
施策タイトル ③第三者委員会の設置			
計画内容	・福祉サービス利用者からの苦情の適切な解決に努めるとともに、利用者へ適切に対応していくため、第三者委員会を設置し、福祉サービスの充実・強化を図ります。		
取組状況	センター内に意見箱を設置し苦情等に対応した。 全社協職員から本会活動等に対しての苦情等についてアンケート調査を行い、集計を行った。		
実績値	①第三者委員会の開催 0回	②研修会の開催 0回	③
課題等	職員一人々が市民等からの苦情要望等について共通理解のもと対応できるよう、職員への研修等の場を設けていくことが必要である。	今後の方向性	意見箱を継続的に設置し、各種媒体を活用した広報の在り方等の検討を行い、苦情に対する職員の意識意識向上（研修会開催）を図りたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 (A～E)	B

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート	基本目標 3 すべての人にやさしい福祉のまちづくり		
	施策の方向性 (2) バリアフリーのまちづくり		
	取組み 1) 外出・移動支援の推進		

施策タイトル	①重度身体障害者移動支援の推進		
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・重度身体障害者移動支援事業によりリフト付き車両の貸し出しを行い、車いす使用者及び重度肢体不自由者の移動支援を行います。 ・より多くの方に利用していただけるよう、広報の強化を図ります。 		
取組状況	○リフト付車両の貸出を行い、車いす使用者及び重度肢体不自由者の移動支援を行った。		
実績値	①リフト付き車両の貸出 69回	②リフト付車両の広報 1回	③
課題等	現在、利用者が限られており、多くの利用ができるよう広報の強化が課題である。	今後の方向性	様々な広報媒体を利用し広報の強化を図り、多くの方が利用できるよう取り組む
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	B
施策タイトル	②身体障がい者自動車運転免許取得事業・身体障がい者自動車改造費助成事業		
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車免許の取得や、運転装置取付等の自動車改造に係る費用の一部を助成することにより、障がい者の社会参加と自立促進を図ります。 		
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○自動車免許取得助成事業及び、自動車改造助成事業を実施し、障がい者の社会参加と自立促進を図った。通学や通勤の移動手段として免許取得は不可欠であり、一部助成は申請者の経済的負担軽減になり喜ばれている。 ○自動車改造助成事業は、移動手段として身体障がい者の社会参加に繋がり、経済的負担を軽減することができた。 		
実績値	①自動車免許取得助成事業 4件 助成額 400,000円	②自動車改造助成事業 4件 助成額 400,000円	③
課題等	年度により申請件数にばらつきがあり、予算対応が厳しい年もある。また、年度内での免許取得ができない場合もあり、予算があまってしまうことがある。	今後の方向性	障がいを持つ方の社会参加と自立促進を図るため、事業の継続が望まれている。予算の計画的に執行できるよう他市町村から免許所得者への支援等について情報を得ていきたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	B
施策タイトル	③車いす貸し出し		
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・外出や福祉サービスの手続きの間に車いすが必要な方に対し、短期的（最長3カ月）な車いすの貸し出しを行います。 		
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○車いすの利用が必要な方への短期的な（最長3カ月）車いすの貸出。一時的になケガや障がいを持つ方、高齢者など 利用者のみならず、本人の社会参加も含め家族の負担軽減に図るため車両の貸出を行った。 車いす貸出以外の相談についても、関係機関と連携し対応。 		
実績値	①車いすの貸出 87件	②	③
課題等	車いすの貸出利用者には経済的厳しい世帯等がいるため貸出期間内に返還することが難しい世帯がいる。そのため、ケアマネ等関係者との連携が必要である。	今後の方向性	今後も制度の狭間や利用者負担が難しい方の対応はしつつ、本制度の理解促進を図る為、利用者、家族、福祉関係者に丁寧な説明と理解促進を促したい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	B

施策タイトル	④福祉バスの貸し出し		
計画内容	・自治会、福祉団体等へ研修・交流を目的に、福祉バスの貸し出しを行います。		
取組状況	○福祉バスの貸出を行っている。		
実績値	①福祉バス貸出（運行） 103回	②	③
課題等	貸出の予約時期が団体によって集中し、利用できない団体もある。他にマイクロバスを貸出しているところがないため対応に苦慮している。	今後の方向性	福祉バスの安全運行への働きかけを行い、事故防止の徹底、事故発生時の事故対応の強化を行う
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 (A～E)	B

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート		基本目標 3 すべての人にやさしい福祉のまちづくり	
		施策の方向性 (3)	権利擁護の仕組みの充実
		取組み	1) 成年後見制度の利用促進
施策タイトル ①成年後見制度の普及・利用促進等に向けた関係機関との連携			
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の利用促進に向けた地域連携の中核となる機関について、宜野湾市が設置する検討の場に参加し、望ましい中核機関のあり方を検討していきます。 ・法人後見を実施している社協や福祉事業所等、県内外の法人後見の実施事例について調査・研究に努めます。 		
取組状況	○地域自立支援会議（権利擁護部会）への参加、特定非営利活動法人 沖縄県自立生活センター・イルカ 成年後見法人後見事業への協力はできた。		
実績値	①地域自立支援会議（権利擁護部会への参加）3回	②法人後見人実施団体への協力事業運営委員会の参加1回	③
課題等	市の中核機関設置に向けた話し合いを行ったが、法人後見についての調査・研究までは出来なかった。	今後の方向性	行政との中核機関検討の場づくりを設けるとともに法人後見について調査・研究を行っていきたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 (A～E)	C

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート		基本目標 3 すべての人にやさしい福祉のまちづくり	
		施策の方向性 (3)	権利擁護の仕組みの充実
		取組み	2) 福祉サービス利用援助事業等の充実促進
施策タイトル ①福祉サービス利用援助事業等の普及・利用促進			
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の利益の保護を図る仕組みの整備の一環として、第二種社会福祉事業に規定されている『福祉サービス利用援助事業』の普及を図るため、多様な広報媒体（広報誌やホームページへの掲載、パンフレット設置等）を利用し、広く周知を行うとともに、事業説明会等を実施します。 ・『日常生活自立支援事業』を沖縄県社会福祉協議会から受託し、事業の継続を図るとともに、利用者の支援に向けた体制づくり並びに支援に努めます。 		
取組状況	○『日常生活自立支援事業』を沖縄県社会福祉協議会から受託し実施。広報誌やホームページ等にて周知を行った。 ○生活支援員は充実し、利用者支援の拡充を図ることができた。 ○利用の問い合わせについてもその都度対応出来ていない。		
実績値	①日常生活自立支援事業 利用者 38名 生活支援員 24名	②社協だよりによる広報 1回	③社協ホームページによる広報 1回
課題等	福祉関係者から利用申請相談が多いが、利用待機者が多い為、直ぐに利用できないことが課題である。	今後の方向性	沖縄県社会福祉協議会と予算折衝し、職員確保に向け働きかけを行いたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 (A～E)	B

施策タイトル ②「宜野湾市権利擁護支援センターうるる」の充実			
計画内容	「宜野湾市権利擁護支援センターうるる」の充実に努めるとともに、成年後見制度の中核機関としての役割を宜野湾市と調整・検討を図る中で機能の拡充や運営のあり方等を検討していきます。		
取組状況	○「宜野湾市権利擁護支援センターうるる」の運営。うるる定例会の開催。研修会への参加を行った。 ○「うるる」の機能や在り方、支援体制について行政方針として「うるる」利用者を日常生活自立支援事業へ移行を推進する事ができた。		
実績値	①権利擁護支援センターうるる 利用者 10名 生活支援員 23名	②担当課との調整会議 11回	③成年後見制度等の研修会の参加 3回
課題等	現在利用されている「うるる」利用者を日常生活自立支援事業へ移行する中で、成年後見制度の中核機関としての役割を宜野湾市と調整・検討を図る中で機能の拡充や運営のあり方等にて議論を重ねることが重要である。	今後の方向性	担当課と「うるる」の機能、在り方を検討し、現在利用されている方の支援体制の整理を行うとともに、成年後見制度の中核機関としての役割やあり方等について引き続き議論を行います。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 (A～E)	B
施策タイトル ③「通帳等一時預かり事業」の実施			
計画内容	・福祉サービス利用援助事業や成年後見人制度の利用が必要な方で、それらの契約が締結されるまでの間に権利が侵害される恐れがある場合、または虐待等の理由で緊急的に通帳や印鑑の保管が必要と判断された場合、行政の依頼を受け、関係機関と連携して「通帳等一時預かり事業」を行い、制度の狭間にある要支援者の権利を擁護します。		
取組状況	○福祉サービス利用援助事業や成年後見人制度の契約が締結されるまでの間に権利が侵害される恐れがある場合や、経済的搾取等虐待で緊急的に通帳や印鑑の保管が必要と判断された方の支援。行政の依頼を受け「通帳等一時預かり事業」を行った。		
実績値	①通帳等一時預かり事業利用者 6名	②通帳等一時預かり事業 ケース会議 15回 支援、訪問等 29件	③
課題等	緊急的支援として、行政依頼のもと預かりを実施しているが、次の支援につながるまで預かりが長期間にわたるケースがある。	今後の方向性	社協事業として適切に運営できるよう、行政・関係機関等との役割を明確にしながら、長期支援にならないようにしたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 (A～E)	B

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート	基本目標 3 すべての人にやさしい福祉のまちづくり
	施策の方向性 (3) 権利擁護の仕組みの充実
	取組み 3) 擁護を必要としている市民の発見・支援

施策タイトル ①権利侵害や虐待防止に向けた連携			
計画内容	・子どもから高齢者といった全ての方への権利侵害や虐待防止に向けて宜野湾市福祉推進部・健康推進部担当課と連携していくものとし、住民からの虐待に関する通報、事業所等から虐待情報を把握した場合、関係機関との連携により対応を図ります。		
取組状況	○宜野湾市要保護児童対策地域協議会（じのーんキッズ安心ネット）への参加・協力を行った。 ○地域包括支援センター及び社会福祉協議会相談窓口連絡会への参加・協力を行った。 ○宜野湾市福祉推進部・健康推進部担当課との連携した対応を行った。		
実績値	①要保護児童対策地域協議会の参加 1回	②権利擁護部会への参加 3回	
課題等	行政、関係機関との迅速な対応ができるよう体制づくりが課題である。	今後の方向性	今後も行政、関係機関と連携を強化し取り組む。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係／総務・相談支援係	事業評価 (A～E)	B

